

避難訓練(地震・火災)

日時	令和2年10月29日(木)10時25分～10時40分
対象者	(全学年) ・ ()年生 ・ その他()
具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・各学級での事前指導として、 ①地震発生時の速報と予想される対応行動 ②地震発生時の基本的な行動 ③避難行動の仕方 <ul style="list-style-type: none"> ・避難の実際 ①地震速報のアラームで身を隠す。 ②地震後、火災発生のため運動場へ避難する。 ③訓練後、各学級で反省の時間をとる。(キャリアパスポート記入)
児童の様子	事前指導を受けていたので、素早く机の下に隠れて椅子の足を持つことができていた。机がない音楽室も、ダンゴムシのポーズをすることができた。「お・か・し・も」の徹底もできて、無事に避難することができたのがよかった。
成果	今回は、あらかじめ予告していたので、短い時間でもスムーズにいけた。訓練だが、児童は本番と同じように真剣に取り組むことができた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・予告なしでもできるのか。 ・今回、子どもがいる場所は教室がほとんどだったが、休み時間外で遊んでいるときや掃除中など、いろいろな場面での訓練を行っていく必要がある。
児童の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・私はひなんくんれんをして思ったことがいくつかあります。一つは本当のひなんだとおもってやると、本当に起きたときもちゃんとできるから、これからの練習をちゃんとしようと思いました。もう一つは、火元から反対方向にいくと、火元からはなれていいと思いました。もう一つは、外で遊んでいるときは、運動場ににげてしゃがんで自分の命をまもりたいなと思いました。 ・私は地しんが起きたとき、みんながいないところではどうすればいいんだろうと思いました。もし、休み時間に地しんが起きたら、自分で判断して、自分で安全なところににげればいいと思います。地震が起きたとき、どこににげればいいのか分かっておいたら困らないと思うので、地しんひなん訓練は大事だと思います。 ・できたことは「お・か・し・も」が守れたことです。もし、本当にさいがいが起きていたときは、「お・か・し・も」を守っていなかったら、友達の命があぶないし、自分の命もあぶなくなります。気をつけようと思ったことは、火災が起きたら、ハンカチもしくはマスクをしようと思いました。だって、ハンカチやマスクをしないと、けむりをすってしまい、体調が悪くなってたおれ、火にまきこまれてしまうからです。